

「ひろしま安芸高田神楽」

開催日 | 9/2 (土)

開催場所 | 霊宝館



「ひろしま安芸高田神楽」は、きわめて演劇性が高くスピード感にあふれた勇壮な奏楽、豪華絢爛な衣装、そしてわかりやすいストーリーで構成され、現在、広島県安芸高田市で22の神楽団により継承されています。

時間 | 14:00 ~

※入場には拝観料が必要です

全国各地にさまざまな形の神楽が伝えられているなかで、安芸高田市の神楽は出雲流神楽が石見神楽を経て、江戸期にこの地域に伝えられたと考えられます。またその過程で、高千穂神楽・備中神楽、さらに中国山地一帯に古くから伝わる農耕信仰などの影響を受けて、のびのびとした伝統芸能に発展しました。



安芸高田市

安芸高田神楽協議会 (広島県安芸高田市)

安芸高田市役所：〒731-0592 広島県安芸高田市吉田町吉田791番地
(事務局_安芸高田市産業部商工観光課内)

神楽

太鼓と笛の音が鳴り響く

第1回

日本国際芸術祭

ひろしま安芸高田神楽 京都公演

2023.9.2 sat 14:00~

場所:世界文化遺産 京都 醍醐寺 霊宝館

〒601-1325 京都市伏見区醍醐東大路町22



アクセス

入場料:醍醐寺霊宝館の拝観料が必要になります

出演: 広島県無形民俗文化財 指定 **佐々部神楽団**

(広島県安芸高田市)

日本国際芸術祭とは...

2025年日本国際博覧会を契機に開催する新しい国際的な芸術祭です。万博までも万博後も、千年の都京都、文化庁がある文化首都京都で開催致します。アート・デザイン・サイエンス・テクノロジー・経済の共創を目指し、2023年に第1回を開催、2024年、2025年(京都と万博会場)、2026年、2027年と毎年継続していく予定です。

2023年の開催期間は9/1~10/15、メイン会場を世界文化遺産京都醍醐寺に据え、京都市内・京都府内の画廊、工房、企業ショールーム、大学研究室、美術館、工場(オープンファクトリー)、寺社仏閣等を繋ぎます。京都を中心に展開し、そこに大阪や全国が繋がっていく形を創り上げます。本芸術祭は(一社)夢洲新産業・都市創造機構が本部になり継続させてまいります。

主催 (一社)夢洲新産業・都市創造機構 特別協力 世界文化遺産 京都 醍醐寺
後援 京都府、京都市、「大阪・関西万博」京都支援協議会、(公社)2025年日本国際博覧会協会、
経済産業省 近畿経済産業局、(一社)関西経済同友会、大阪商工会議所、(公社)関西経済連合会(予定)

神楽に関するお問合せ:広島県安芸高田市 商工観光課 Tel.(0826)47-4024



第1回 日本国際芸術祭 ひろしま安芸高田神楽 京都公演

プログラム

14:00～ 声 明 真言宗醍醐派総本山醍醐寺

14:20～ 鍾 馗 佐々部神楽団

15:10～ 八岐大蛇 佐々部神楽団

世界文化遺産 醍醐寺

醍醐寺は874年に開創され、上醍醐と下醍醐の約200万坪の広大な敷地に、京都府内で最古の木造建築の五重塔など国宝75,537点(日本一の国宝点数)をはじめ仏像、文書、絵画など古代、中世以来の貴重な寺宝は約15万点にも及びます。本坊的な存在の三宝院は、国宝に指定されている表書院をはじめ建物の大半が国の重要文化財に指定されており、三宝院庭園は、慶長3年(1598)に豊臣秀吉公が「醍醐の花見」に際して自ら基本設計をした庭であり、今も桃山時代の華やかな雰囲気を与えています。「古都京都の文化財」として世界遺産に登録されています。



ひろしま安芸高田神楽

あなたは「ひろしま神楽」を観たことがありますか？
その壮麗さはヨーロッパのオペレッタにも似て
そのスピード感はブロードウェイ
ミュージカルのように(と、自負するほど)。
勇壮な奏楽、豪華絢爛な衣裳、
ストーリー構成など、あなたの想像を超える
神楽ワールドへご案内します。



神楽を詳しく
解説!! ▶▶▶



提供:公益財団法人サントリー文化財団

佐々部神楽団 (広島県安芸高田市)

1979(昭和54)年3月26日 広島県無形民俗文化財 指定
明治初期、旧石見国邑智郡上田村の宮司、三上真名井から伝承された。時代の移り変わりに伴い、装束も金刺繍入りの絢爛たるものとなり、その舞ぶり、詞章、題材も芸術的に改められているが、本質的なものは忠実に伝承され今日に至っている。上演可能な古典神楽の演目として12曲以上を保持している。

鍾 馗 Shouki

むかし、唐(今の中国)の玄宗皇帝が病の床に付いていた時、夢の中に1人の神が現れ、鬼を退治しました。皇帝が夢からさめると急に病が癒えたので、画人呼んでその神の像を描かせました。長く豊かな鬚を蓄え、中国の官人の衣裳を着て剣を持ち、大きな眼で何かを睨みつけている姿は「鍾馗」であると明らかになりました。この故事により中国では疫神を退け魔を除くと信じられている神様です。中国や日本の民間伝承に伝わる道教系の神で、日本では、疱瘡=天然痘 除けや学業成就に効があるとされ、端午の節句に絵や人形を奉納したりします。この演目は能楽「鍾馗」「皇帝の物語と、須佐之男命と蘇我将来との「茅の輪」の故事が合体したものと思われます。



八岐大蛇 Yamatanoorochi

罪を犯して高天原を追われた素戔嗚尊は、出雲の国簸川の川の上流で今年もまた八岐大蛇に襲われると嘆き、助けを求める足名椎・手名椎の老長者夫婦と娘の奇稲田姫に出会った。その大蛇は頭が八つ・尾が八つ、長さは八つの谷をまたぐという。そこで尊は八塩折の樽酒を用意させて、大蛇の現れるのを待った。やがて現れた大蛇が酒を飲み、酔って眠ったところに襲いかかり激しい戦いの後、ついに退治する。その時、大蛇の尾から出た一振りの名剣を、天叢雲剣と名付け、高天原の天照大神に献上した。

